



第3回有識者検討会における議論について

令和5年9月
農林水産省
大臣官房デジタル戦略グループ

第3回検討会における委員の主な御発言内容

委員名	発言内容
大橋委員	(主な御発言は情報提供者に対する事実関係の確認であったため省略)
中谷委員	・今日の話は、新しい価値が生み出されている取組に関するものであり、デジタイゼーション、デジタイゼーション、デジタルトランスフォーメーション（DX）と段階が進む形態のうち、まさにDXの話。フィンテックから出発して、ネットワークの外部性や地域のインフラ、DAOという形で具体的に新しい価値が生み出されている。
岡林委員	・電子地域通貨「さるぼぼコイン」の活用については、口コミレベルで広がりを見せている点が素晴らしい。コロナ禍への対応という点でタイムリーな取組となり、住民もありがたいはず。市外の者に地元を応援してもらえる体制になっている点も素晴らしい。 ・紫波町のWeb3タウンの取組については、今後、どの程度、取組が広がるのかという点が楽しみ。構想が素晴らしい。意識高い系の人、地域で貢献したいという人が多いのだろう。
下山委員	・フィンテックについては、情報格差の是正の観点から、データの見方がわからない人にも有用な情報を提供する必要がある。農業者間にリテラシーの差があるため、ある程度翻訳した情報の提供が必要。日本公庫の取組のように、データの蓄積があれば、農業分野でも、例えばAIによる自動分析を行うことや、属人的にならないように、農業者の日々の活動実績に照らして判断する審査の仕組みを構築することができ、必要な人が資金を得ることができるようになるのではないかと。 ・農村分野のDXの取組については、コミュニティの性質に合わせた柔軟な支援が大事であり、支援の押し売りになってはいけない。いかにニーズに合わせたものを提供できるか、支援メニューをいかに柔軟に組んでカスタマイズできるかということを意識して提供していくべき。

第3回検討会における委員の主な御発言内容

委員名	発言内容
加藤委員	(主な御発言は情報提供者に対する事実関係の確認であったため省略)
宮島委員	・フィンテックについては、他の行政のデジタル化の取組と異なり、政府と金融機関が連携するためのベースを政府が提供できており、農水省の取組は、他の参考になる。 ・高齢者や農村の人々は、最初のアプリを入れるところなど、スタートが課題となる。金融機関という、そういった方々と接点があるところが応援することにより、参入しやすくなっている。 ・デジタル田園都市国家構想に基づく農村分野のDXの取組については、農水省の取組はスタートしたばかりであり、地方自治体は4つのみ。まだ少ない感じがする。
三輪座長	(主な御発言は座長としての司会進行に係るものであったため省略)